

キャラクター名
御神 咲耶 (みかみ さくや)

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル		ワークス	刑事	カヴァー	R担刑事
	エグザイル					
オプション			年齢	21	性別	女性
覚醒	感染	衝動	闘争	初期侵食率	30 %	
出自	権力者の血統		経験	コース (LM, 社会人・若手表)	邂逅	上司 (任意)

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	4	0	0			4	行動値	7
感覚	2	1	0			3	(非装備時)	7
精神	0	0	1			1	戦闘移動	12
社会	2	0	0			2	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	5		射撃	1		RC			交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転:	2		芸術:			知識:			情報:裏社会	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
骨の剣	白兵	4r+4	6	LV+5		
	白兵	4r+4		6		
	白兵	4r+4		7+2D		100%

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
カジュアル (に着ている着ぐるみ)	
カジュアル (人として外出する時)	
手錠	
コネ: 情報屋	
ボイスチェンジャー	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
異形 (フリークス)	P	N		
柳本 均 (やなぎもと ひとし) <シナリオ>	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P: 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
C: エグザイル	2	2						
効果:								
貪欲なる拳	3	3						
効果: 判定ダイスを+LV+1個する								
伸縮腕	2	2		視界				
効果: 射程を伸ばす。判定ダイス-LV個								
ジャイアントグロウス	2	5			範囲 (選択)		100↑	
効果: ダメージ+2D、シナリオLV回まで。								
聖痕	3	0					Dロイス	
効果: 侵蝕上昇を-「LV+2」する。メインプロセス後HP-5、シナリオ3回まで。								
骨の剣	1	3						
効果: 素手データを書き換える								
崩れずの群れ	1	2						
効果: カバーリングする。ラウンド1回。								
壁に耳あり	1	1						
効果: 情報判定のダイスを+LV+1個する。								
環境適応	★							
効果: 着ぐるみ内で暑かったり息苦しいのに対応している。								
擬態の仮面	★							
効果: 一般人に紛れる為に使うが、どうしても左腕だけは異形のままである。(腕のサイズは調整は効くが)								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

『ヤッホー！ボクはこの警察署のマスコットの せ！』『困った事があつたらおまわりさん達に相談してみて！君の助けになれるかもしれないよ！』『...私のこんな見た目で、『相談してみて』だなんて。私の姿見たら幻滅するだろうに』『所詮、私は着ぐるみを纏ってなきや、ただのバケモノですから...。』『確かに一般人から見たら私はバケモノでしょうが...。だから守らない、という理由にはなりません。こんなでも、刑事である事に変わりはないですから...。』

左腕が大きな異形になっている女性で、普段働いている時は着ぐるみを着て過ごしている。性格は着ぐるみを着ていないとそこまで明るくない。着ぐるみを着ている時は、マスコットになり切っている。(なお時々素の方は出るが)幼い頃から家が権力者なだけあり良い教育を受けており、海外で飛び級して若くして刑事になっている。

警察内でのコードネームは、『異形の決戦兵器 (リーサルウェポン・コード: フリークス)』。R担内での対ジャーム戦闘要員の一人であり、白兵戦に特化した人物である。とされている。しかし実際は、まともな戦闘経験はほとんど無く、異形の左腕を持って余しているだけの女性である。オーヴァードに覚醒するまでは一課でもR担でもよく働き、子供に接したりする事が多かったが、左腕が異形の物になってから人前に入る事がほとんど無くなっていった。それを見かねて上司であった柳本から、着ぐるみを着て一般人と接してみてもと提案され、試しにと着ぐるみを着て過ごしている。これは本人は気づいていないが、着ぐるみを着て過ごしている事により人と触れ合う機会が増えて、心の健康やレネゲイドの安定に繋がっている。

レネゲイド関係の事件の捜査中、肩から下の左腕を無くす。そしてその際、敵として戦ったジャームの腕が生存本能のままに癒着、彼女のレネゲイドと適合を果たして今のように「左腕だけが異形の物」となっている。癒着した腕の影響で、黒かった髪は色が抜け、空色の瞳は赤く染まった。

そして、その犯人の大元が「パニッシャー」と呼ばれる人物の仕業である事を突き止め、今回の捜査の参加を決意する。